

貸借対照表

昭和建設株式会社

2026年3月31日

(単位 千円)

| I 資産の部 | | II 負債の部 | |
|-------------|-------------|------------------|---------------|
| 勘定科目 | 残高 | 勘定科目 | 残高 |
| <u>流動資産</u> | 3,768,462 | <u>流動負債</u> | 1,296,463 |
| 現金預金 | 215,215 | 短期借入金 | 90,000 |
| 受取手形 | 1,452 | 工事未払金 | 758,840 |
| 電子記録債権 | 46,450 | 未払金 | 122,582 |
| 完成工事未収入金 | 1,716,488 | 未払費用 | 67,208 |
| 資材売上未収入金 | 5,549 | 前受金 | 100 |
| 材料及び貯蔵品 | 884 | 預り金 | 728 |
| 未成工事支出金 | 14,182 | 未払法人税等 | 139,959 |
| 未収入金 | 12,281 | 賞与引当金 | 86,592 |
| 短期貸付金 | 1,435,805 | リース債務 | 10,975 |
| 立替金 | 152 | 完成工事補償引当金 | 4,956 |
| 短期保証金 | 8,979 | 未成工事受入金 | 14,520 |
| 前払費用 | 2,278 | | |
| 未収消費税 | 3,072 | <u>固定負債</u> | 137,785 |
| 県南アスコン出資金 | 147,453 | リース債務 | 22,698 |
| 県央アスコン出資金 | 168,688 | 資産除去債務 | 90,916 |
| 貸倒引当金 | △ 10,471 | 繰延税金負債 | 24,170 |
| <u>固定資産</u> | 1,576,819 | | |
| (有形固定資産) | (805,686) | <u>引当金</u> | 231,703 |
| 建物 | 296,053 | 退職給付引当金 | 224,900 |
| 建物附属設備 | 4,263 | 役員退職慰労引当金 | 6,803 |
| 構築物 | 45,021 | | |
| 機械装置 | 21,685 | <u>負債合計</u> | 1,665,952 |
| 車両運搬具 | 0 | | |
| 工具器具備品 | 18,174 | <u>III 純資産の部</u> | |
| 土地 | 383,016 | <u>株主資本</u> | 3,324,856 |
| リース資産 | 37,471 | 資本金 | 50,000 |
| (無形固定資産) | (44,191) | (資本剰余金) | (825,342) |
| ソフトウェア | 41,453 | 資本準備金 | 825,342 |
| 施設利用権 | 23 | (利益剰余金) | (2,449,514) |
| 電話加入権 | 0 | 利益準備金 | 2,700 |
| 借地権 | 2,714 | その他利益剰余金 | 2,446,814 |
| (投資その他の資産) | (726,941) | 繰越利益剰余金 | 2,446,814 |
| 投資有価証券 | 702,457 | <u>評価差額金等</u> | |
| 関係会社株式 | 12,000 | その他有価証券評価差額金 | 354,472 |
| 会員権 | 2,800 | | |
| 従業員貸付金 | 926 | <u>純資産合計</u> | 3,679,328 |
| 長期前払費用 | 130 | <u>負債・純資産合計</u> | 5,345,281 |
| 破産更生債権等 | 2,008 | | |
| 前払保険料 | 561 | | |
| 長期保証金 | 8,066 | | |
| 貸倒引当金(長期債権) | △ 2,008 | | |
| <u>資産合計</u> | 5,345,281 | | |

(注1) 記載金額は、千円未満を切り捨て表示しております。

(注2) 当期純利益 398,832 千円

注記表

【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券

市場価格のない株式等 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産
直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定している)
以外のもの

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産

販売用不動産 個別法による原価法

未成工事支出金 個別法による原価法

不動産事業支出金 個別法による原価法

材料及び貯蔵品 総平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産除)定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)
は定額法を採用している。

また2016年4月1日以後に取得した建物附属設備に係る減価償却
方法を定率法から定額法を採用している。

(2) 無形固定資産(リース資産除)定額法

3. 重要な引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒による損失に備えるため、一般債権に
ついては貸倒実績率により、貸倒懸念債権等については個別に
回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与に充てるため、支給見込額に基づき
計上している。

(3) 完成工事補償引当金

完成工事に係る瑕疵担保の費用に備えるため、当事業年度の
完成工事高に対する将来の見積補償額に基づき計上している。

(4) 工事損失引当金

受注工事に係る将来の損失に備えるため、未引渡工事のうち
当連結会計年度末において損失の発生が見込まれ、かつその
金額を合理的に見積もることができる工事について損失見込額
を計上している。

(5) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、自己都合退職による期末
要支給額を計上している。

(6) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末
要支給額を計上している。

4. 収益及び費用の計上基準

完成工事高及び完成工事原価の計上基準は、「収益認識に
関する会計基準」に準じている。

5. その他

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

(千円単位の記載金額は千円未満切捨て表示)

【貸借対照表に関する注記】

| | |
|-------------------|--------------|
| 1. 担保に供している資産 | 該当なし |
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額 | 1,190,685 千円 |
| 3. 有形固定資産の減損損失累計額 | - 千円 |
| 4. 受取手形割引高 | - 千円 |
| 受取手形裏書譲渡高 | - 千円 |
| 5. 関係会社に対する短期金銭債権 | 1,541,794 千円 |
| 関係会社に対する長期金銭債権 | - 千円 |
| 関係会社に対する短期金銭債務 | 24,637 千円 |
| 関係会社に対する長期金銭債務 | - 千円 |

【損益計算書に関する注記】

| | |
|--------------------------|------------|
| 関係会社との営業取引による取引高の総額 | |
| 売上高 | 955,139 千円 |
| 売上原価 | 29,651 千円 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,021 千円 |
| 関係会社との営業取引以外の取引による取引高の総額 | |
| 営業外収益 | 16,524 千円 |
| 営業外費用 | - 千円 |

【株主資本等変動計算書に関する注記】

1. 当事業年度末における発行済株式の数 普通株式 1,000 株
2. 配当に関する事項

当事業年度中の配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|------------|------------|
| 2025年5月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 90,000 | 90,000 | 2025年3月31日 | 2025年5月29日 |

基準日が当事業年度に属する配当のうち、効力発生日が翌事業年度となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|------------|------------|
| 2026年5月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 120,000 | 120,000 | 2026年3月31日 | 2026年5月27日 |

【1株当たり情報に関する注記】

1. 1株当たり純資産額 3,679,328 円 78 銭
2. 1株当たり当期純利益 398,832 円 04 銭